

令和2年7月8日

保護者様

福島市立鳥川小学校長 佐藤 和子

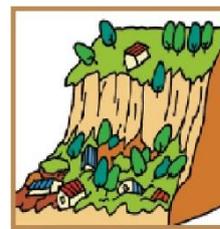
強い雨・大雨への注意

小暑の候、保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、現在、九州地方および中部地方では大雨による甚大な被害がもたらされています。天気予報によりますと、今後も、西日本から東北の広い範囲で、あす9日（木）にかけて局地的に非常に強い雨が降るところがあるとのことです。福島市もこのところ雨天が続いています。今後も降水量が多くなることが予想されますので、土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒が必要です。

つきましては、児童に安全な過ごし方について、下記のような指導をいたしましたので、ご家庭でも十分にご注意をお願いいたします。

なお、ご自宅、学区内、近隣、通学路等で被害がありましたときは、学校にもご連絡をお願いいたします。緊急時には、改めて安心・安全メールにてお知らせいたします。



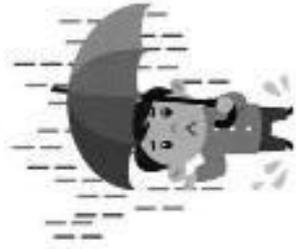
- ① 河川や用水路などには絶対に近付かないこと。
- ② 土砂崩れの危険があるところには絶対に近付かないこと。
- ③ 地下歩道など水が溜まるところに近付かないこと。
- ④ 荒天時に、外出をして遊びに行かないこと。
- ⑤ 家族内でいざというときの避難方法を確認しておくこと。

※ 緊急時は、警察・消防署・市役所など関係各所へ連絡をしてください。

雨の強さと降り方（1時間雨量）と災害の危険性

10～20mm未満

やや強い雨



地面一面に水たまりができ話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。

20～30mm未満

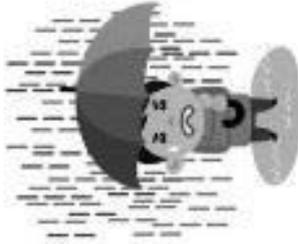
強い雨



土砂降りの雨。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。小川などは氾濫、また、がけ崩れの心配もあります。

30～50mm未満

激しい雨



激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備が必要です。

50～80mm未満

非常に激しい雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。屋内で寝ている人の半数くらいが気づくほどの激しい雨です。

80mm以上

猛烈な雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。大雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。

大雨注意報発表表
(時間雨量20mm)

大雨警報発表表
(時間雨量40mm)

※気象庁資料参照